



平成30年8月22日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
(コード2388 東証JASDAQ市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03-6225-2207)

連結子会社Group Lease PCLによる2018年第2四半期業績についての解説

当社連結子会社Group Lease PCL（以下、「GL」といいます。）が、平成30年8月14日に「2018年第2四半期業績についての解説」を公表いたしましたので、以下の通りお知らせいたします。

記

(以下、GL公表のプレスリリースの翻訳文)

Group Lease Public Company Limited（以下、GL）の2018年第2四半期（2018年6月30日）の連結及び個別の業績について以下にその概要を説明します。

連結財務諸表

GLが発表した2018年第2四半期業績において、当期連結純利益は125.98百万タイバーツとなり、前年同期に比べ155.91百万タイバーツ減、55.31%減となりました。純利益減少の主な要因はローン貸付利息の減少、マイクロファイナンス利息収入増加による与信管理費用の増加です。

1. 割賦及びリース販売利息収入は、前年同期比1.32百万タイバーツ減、0.25%減の524.57百万タイバーツを計上しました。この減少の主な要因は、カンボジアの子会社GLF Finance Plc.（以下、GLF）とラオスの子会社GL Leasing (Lao) Ltd.（以下、GLL）において割賦及びリース販売利息収入が、それぞれ48.60百万タイバーツ、1.33百万タイバーツ減少したことです。これは、カンボジア及びラオスにおいて貸付ポートフォリオの質向上を図るため、新規顧客の審査をより厳しく且つ保守的に行う戦略に基づくものです。一方、GL及びタイの子会社Thanaban Company Limited（以下、TNB）では、新商品により貸付ポートフォリオを拡大する戦略に沿って、割賦及びリース販売利息収入がそれぞれGL 34.10百万タイバーツ、TNB 14.51百万タイバーツ増加しました。
2. 資産担保金融利息収入は、前年同期比0.92百万タイバーツ増、2.32%増の40.28百万タイバーツを計上しました。この増加のうち、0.65百万タイバーツはTNBによるものです。残りの0.27

百万タイバーツは、2017年第2四半期に新商材として開始したGLFによるものです。

3. マイクロファイナンス利息収入は、前年同期比37.41百万タイバーツ増の43.64百万タイバーツとなり、大幅な顧客増を反映した結果です。2018年第2四半期において、ミャンマーの子会社BGMMが26.58百万タイバーツ、インドネシアの子会社GLF Indonesia が10.83百万タイバーツをそれぞれ計上いたしました。
4. ジョイントベンチャーによるコンシューマーファイナンス利息収入は、前年同期比6.39百万タイバーツ増、52.47%増の18.57百万タイバーツでした。このコンシューマーファイナンスは、インドネシアにおいて農機具購入者向けに共同でローンを提供するジョイントファイナンス商品に関する事業です。
5. ローン貸付利息は、前年同期比70.56百万タイバーツ減、99.34%減の0.46百万タイバーツでした。大幅な減少の理由は、保守的な観点から、このローン貸付利息を収益として計上しない会社方針によるものです。
6. 売上収入は、1.99百万タイバーツと増加しました。これは2017年第4四半期にTNBが開始した新事業です。
7. その他収入は、前年同期比77.16百万タイバーツ減、43.68%減の99.51百万タイバーツを計上しました。この減少の主な要因は為替差損により104.40百万タイバーツ減を計上したことです。その他内訳は、その他利息収入14.65百万タイバーツ、割賦及びリース販売関連その他収入76.80百万タイバーツ、マイクロファイナンス関連その他収入2.76百万タイバーツ、その他5.30百万タイバーツです。
8. サービス費及び管理費合計は、前年同期比56.14百万タイバーツ増、20.65%増の328.02百万タイバーツを計上しました。この主な要因は、ミャンマーの事業運営における管理費用の増加です。
9. 不良債権及び貸倒引当金は、前年同期に比べて21.97百万タイバーツ増、24.21%増となりました。この主な要因は、タイにおける延滞債権の増加によるものです。但し、本件に関して、経営は直ちに審査の厳格化を行い、ポートフォリオの質向上を図っております。
10. 売上原価は、1.77百万タイバーツでした。これは、上記No.6で言及しております2017年第4四半期にTNBが開始した新事業の売上原価です。
11. 担保権行使資産処分による損失は、前年同期比16.96百万タイバーツ増、33.18%増の68.09百万タイバーツでした。GL及びGLFにおける担保権行使率の増加が主な要因です。
12. 2016年10月に株式の29.99%を取得したスリランカの持分法適用会社Commercial Credit and Finance PLC（以下、CCF）からの持分法による投資利益は、前年同期比0.87百万タイバーツ減、2.36%減の35.86百万タイバーツでした。主な要因は、スリランカルピーに対する

タイパーツの高騰です。

13.ファイナンス費用は、前年同期比27.82百万タイパーツ減、21.92%減の99.11百万タイパーツでした。主な要因は、負債全体の減少及びカンボジアのGLFにおける銀行借入の減少です。

個別財務諸表

2018年第2四半期の当期純利益は、前年同期比467.35百万タイパーツ減、95.53%減の21.88百万タイパーツでした。以下は、その主な要因です。

- 1.割賦及びリース販売利息収入は、前年同期比34.10百万タイパーツ増、11.35%増の334.53百万タイパーツでした。2018年第2四半期末の割賦及びリース販売貸付金残高は、前年同期に比べて505.29百万タイパーツ、12.29%増加しました。これは、会社の戦略としてタイにおけるポートフォリオ拡大を重視した結果です。
- 2.その他収入は、前年同期の577.70百万タイパーツから148.31百万タイパーツ（429.38百万タイパーツ減、74.33%減）に減少しました。この減少の主な要因は、配当収入343.77百万タイパーツ減によるものです。その他収入の主な内訳は、海外子会社への貸付利息収入計92.64百万タイパーツ、経営サービス収入21.00百万タイパーツ、割賦及びリース販売関連収入計31.42百万タイパーツ、その他3.25百万タイパーツです。
- 3.サービス費及び管理費合計は、前年同期138.65百万タイパーツから226.71百万タイパーツ（88.07百万タイパーツ増、63.52%増）に増加しました。この増加の主な要因は、為替差損として73.39百万タイパーツを計上したことです。
- 4.不良債権及び貸倒引当金は、前年同期比18.36百万タイパーツ増、33.84%増の72.64百万タイパーツでした。この主な要因は、タイにおける延滞債権の増加によるものです。但し、本件に関して、経営は直ちに審査の厳格化を行い、ポートフォリオの質向上を図っております。
- 5.資産処分による損失は、前年同期比10.73百万タイパーツ増、22.48%増の58.44百万タイパーツでした。この増加の主な要因は、タイの割賦及びリース販売の貸付ポートフォリオにおいてオートバイ一台あたりの販売価格が増加したこと及び延滞債権が増加したことです。
- 6.ファイナンス費用は、前年同期比22.46百万タイパーツ減、18.81%減の96.92百万タイパーツでした。主な要因は、負債全体の減少です。

以 上